

果樹カメムシ類情報第2号

令和元年6月17日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

予察灯でのツヤアオカメムシの誘殺数が6月第2半旬に増加！
果樹園への飛来に注意してください！

1 発生状況と今後の予測

- (1) 6月第2半旬に予察灯でのツヤアオカメムシの誘殺数が、豊橋市で62頭、新城市で12頭と増加しました(図)。豊橋市では、5月第1半旬から6月第2半旬までの合計誘殺数が、過去10年と比較して3番目に多い状況です。なお、チャバネアオカメムシの誘殺数は、やや少～平年並で推移しています。
- (2) カメムシ類は、夜温が高くなるこの時期に活動が活発になるので、果樹園への飛来に十分注意してください。

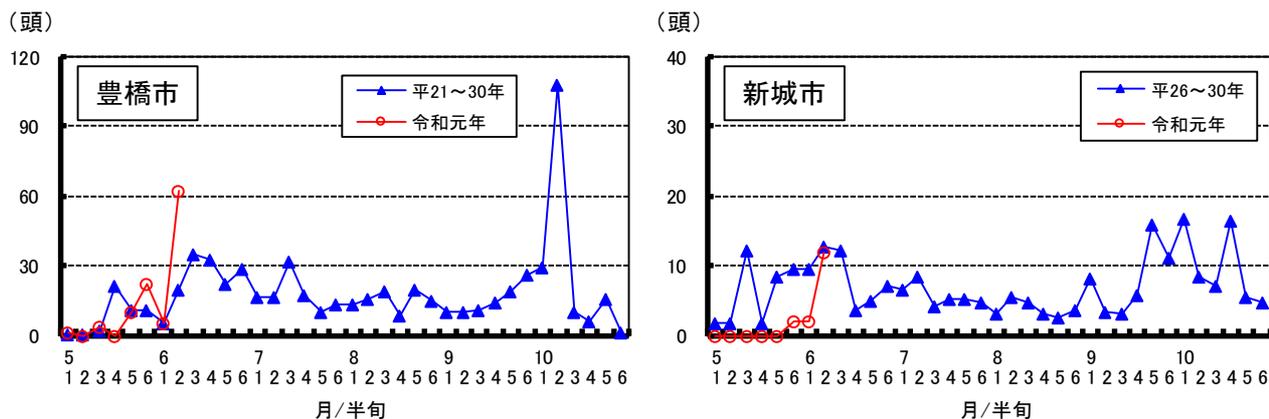


図 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺状況

2 防除対策

- (1) カメムシ類は、風がなく気温の高い夜に果樹園に飛来しやすいので、ほ場での成虫の飛来を確認しましょう。
- (2) カメムシ類は局地的に飛来して、集中して加害する傾向があります。また、園地間差が大きいので、過去にカメムシ類の被害が多かった園では特に注意しましょう。
- (3) 飛来を確認したら残効の長いネオニコチノイド剤もしくは合成ピレスロイド剤を散布しましょう。収穫が始まっている樹種では、収穫前日数や周囲への飛散に十分注意して防除しましょう。
- (4) カメムシ類に果実を吸汁されると、モモでは吸汁痕が残り傷みやすくなります。ナシやブドウでは、加害部が陥没し、品質が低下します。袋かけをする場合は、なるべく早く行いましょう。